

## 平成30年7月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	平成30年7月25日(水) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第2委員会室		
出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	築瀬	眞知雄
	教育委員	油川	育子
	教育委員	武輪	節子
	教育委員	大庭	文武
事務局出席職員	教育部長	吉田	幸司
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	小笠原	徹
	図書館長	千葉	玲子
	博物館長	古里	淳
	学校教育課長	中村	雅臣
	社会教育課長	工藤	浩範
	総合教育センター所長	本間	孝浩
	教育総務課参事	尾崎	紀子
	学校教育課参事	大坂	吉弘
	西地区給食センター所長	川口	晃司
	社会教育課参事	館合	裕之
	是川縄文館参事	小保内	裕之
	図書館副館長	掛端	真裕美

## 開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、平成30年7月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、油川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等についてご報告いたします。

### 主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議します。

はじめに、議案第36号「平成31年度使用小・中学校特別支援学級用教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いします。

### 議案第36号 平成31年度使用小・中学校特別支援学級用教科用図書の採択について

(小笠原 教育部次長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

それでは、議案第36号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第36号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第37号「八戸市文化財の指定について」事務局からの説明をお願いします。

### 議案第37号 八戸市文化財の指定について

(工藤 社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

(伊藤教育長)

それでは、議案第 37 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第 37 号を原案のとおり決定いたします。

次に報告事項にまいります。

はじめに、「平成 30 年度第 1 四半期の業務報告について」は、事前に委員の皆さんから質問をいただいております。

### 【平成 30 年度第 1 四半期の業務報告について（質疑応答）】

(伊藤教育長)

まずは、7 ページの「学校図書館支援事業」について、武輪委員からお願いします。

(武輪委員)

教育指導課の 7 ページ、13 番目の学校図書館支援事業について質問したいと思います。5 月 30 日に学校司書と打合せをしてから 6 月 29 日に学校司書研修会実施とございます。こちらの学校司書研修会について、どのような内容の研修会なのかお聞きしたいと思います。

(日向端 教育指導課副参事)

ご質問いただきありがとうございます。学校図書館支援事業についてお答えいたします。

学校図書館支援事業では 4 名の司書を対象といたしまして、原則毎月 1 回研修会を実施しております。研修会では各配置校における学校図書館の現状について情報交換するとともに、環境整備や読書促進などの取組について共有しております。また、学校司書のみなさんには青森県立図書館が開催する研修会や、八戸市学校図書館協議会が主催する研修会について随時情報を提供しております。今年度は 5 月に開催された研修会に学校司書 1 名が参加しております。また今週の 7 月 27 日金曜日に青森県教育委員会が主催する、「こどもの読書活動推進大会」に当市からは学校司書全員が参加するほか、代表 1 名がパネリストとして参加することになっております。他の施設への視察等についても今後検討して学校司書の皆さんが更に研修を積んで充実を図っていただきたいと思います。以上でございます。

(武輪委員)

今お聞きしまして安心しました。学校司書の方々は県などの主催する会議や視察をして、研鑽を積んでいただきたいと思います。7 月上旬に教育長と教育委員で、調布市と大和市の図書館を視察に行かせていただいた時に、学校図書館と図書館との繋がりが非常に大事だと強く感じました。教育指導課と総合教育センター広報にも、学校図書館の活用について掲載されておりますが、非常にこの部分が学校の子供たちにとって大事だなと感じて、市立図書館と学校が密接に結びつく中で、図書館と学校図書館の間を取り

持つ学校司書の方々にこれから期待するところであり、役割がもっと増えていくのではと感じたからです。

業務報告6ページのマイブック推進事業の学校図書館の支援事業も、それから15ページにあります、学校図書館ネットワーク事業も課を越えて学校の図書館に対して更に活用してもらう為に、学校司書の方々に活躍してほしいという思いがありますので、ぜひ学校司書の方々にも、予算もあると思いますが、視察や研修を通して学校図書館にスキルアップした部分をバックアップしてほしいと考えて質問させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。関連質問ございませんか。

[なし]

それでは次に10ページの「青少年の地域活動事業」について、同じく武輪委員からお願いします。

(武輪委員)

青少年(中・高生)の地域活動(ボランティア)事業ですが、28、29年度の事業を見ましたところ、非常に登録者数も増えていて、実績人数も増えているなど感じました。登録者数が、28年度は中高合わせて2701名、29年度は3428名、30年度は4050名、そして実績人数は28年度が133名、29年度は167名、30年度は256名と、非常に増えているなど思いまして大変嬉しく思います。登録者数と実績人数が増えている要因はどのようなことが考えられるのでしょうか。

(日向端 教育指導課副参事)

「青少年の地域活動事業」についてお答え申し上げます。

最初にボランティアの募集のしくみからご説明させていただきます。青少年の地域活動につきましては、年度当初に市内の中学校、高等学校から登録生徒を募っております。また、年度途中も受け付けております。ボランティア派遣の流れといたしましては、公民館や地域の諸団体等から要請を受けまして、教育指導課から各学校に募集案内を出します。そして、各学校から教育指導課に申し込みを受け、公民館や中心街で開催される催し物にボランティアを派遣するという仕組みになっております。

代表的な活動といたしましては、「さわやか はちのへ 挨拶運動決起大会」における中心街での啓発活動、また、「三社大祭」のお祭り広場の運営補助、「青少年のための科学の祭典」の運営補助などが上げられます。ボランティア登録を申請する学校が年々増えており、昨年は市立の中学校では22校、市内全部の高等学校からボランティアの申請がありました。中には全校生徒がボランティア登録をしている学校もあります。

ボランティア登録人数、実績人数が増加している要因といたしましては、ボランティア活動に興味を持つ生徒が増えてきているということ、また、前年度参加した生徒が翌年友人を誘って再び参加するケースがあること、自己啓発や社会貢献を目的とした生徒が増加していること等が上げられます。また、一方で八戸花火でのボランティア要請等、地域・市民団体からの新規のボランティアの要請等もあることも増加の要因と上げられます。今後も青少年地域活動事業で周知を図っていくとともに、多様な活動が体験できる体制づくりを進めていきたいと思っております。以上でございます。

(武輪委員)

ありがとうございます。大変いいことだなと思います。地域密着型教育の中で、これからは地域から学校へということだけでなく、学校から地域へ出ていって活躍する場ということも増えてほしいと感じているところですので、ボランティア活動を通して子どもたちが関わって、いろいろなことを学んでほしいと思います。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

関連質問はございませんか。

[なし]

それでは次に入ります。17 ページの「特別支援教育推進事業」について、油川委員からお願いします。

(油川委員)

「特別支援教育推進事業」について、1年生巡回相談を5月から実施されるようになりましたが、昨年は6月から実施されているものが今年度は1ヶ月早く実施されることになった理由について伺いたいと思います。

(本間 こども支援センター所長)

小学校1年生巡回相談というのは幼稚園、保育所、認定こども園の前年度の様子から、小学校入学したての適応状態が心配される児童に対する巡回相談でございまして、実際には専門指導員が当該児童の在籍学校に訪問して授業や休み時間の観察、そして学級担任や関わっている教職員から聞き取りを行い、必要に応じて助言等の指導をしているものでございます。

昨年度は6月に一番最初の巡回をしたのですが、今年度、1年生の適応状態について早く確認したい児童がおりましたので、1ヶ月早い5月に実施いたしました。開始時期については児童の状況を把握して柔軟に変更していきたいと思っております。以上でございます。

(油川委員)

柔軟にご対応いただきましてありがとうございます。

幼児教育に関わる問題ですけれども、文部科学省が昨年幼稚園や認定こども園に対して特別支援教育体制整備状況を調査したところ、個別の指導計画を作成している園が大変少なかったようです。この個別の教育支援計画を増加させることが、幼稚園等から小学校への滑らかな接続に繋がるのではないかと思います。これは幼児教育の課題だと感じております。いつも柔軟なご対応ありがとうございます。

もう1点質問させていただきます。資料に「ビジョントレーニング」という言葉がありますが、このことについて詳しい内容を伺いたいと思います。

(本間 こども支援センター所長)

それでは「ビジョントレーニング」についてお答えいたします。こども支援センターでは相談対応している保護者の中で、文字の見え方や書き方を苦手としているのではないかと考えている子どもたちがおります。そのような児童を対象に学び方の支援の一つとして「ビジョントレーニング」を実施しております。

実際のトレーニングでは専用の教材テキストを活用いたしまして物を見るために必要な目の動き、空間の認知、自分で見て判断し体を反応させるというようなスキルの向上を目指すものでございます。対象は小学校1年生から4年生で教育相談の中で児童の保護者に紹介しているものでございます。以上です。

(油川委員)

分かりました。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。関連質問ございませんか。

[なし]

それでは次に入ります。17ページの「特別支援教育看護支援員事業」について武輪委員からお願いします。

(武輪委員)

「特別支援教育看護支援員事業」についてお尋ねいたします。これは今年度からの支援事業でございますが、現状や課題等をお聞きしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(本間 こども支援センター所長)

それではお答えいたします。

今年度からの新規事業ですが、学校で医療的ケアを必要とする子どもたちに対応するために特別支援教育看護支援員事業を実施しております。5月に委嘱状を交付しましたが、実際に医療的ケアを安全に実施するには、主治医から医療的ケア実施指示書を作成してもらうことになっております。これを基に実施手順や実施留意点、緊急時の対応など個別のマニュアルを作成し、実施していくこととなります。

現在、小学校2校に配置していますが、2校のうち1校は6月中旬から医療的ケアがスタートして順調に進んでおり、もう1校は指示書が届くのが若干遅れたため、2学期から本格的にスタートということになります。今回配置された看護支援員2名の対応は非常に柔軟で、児童、保護者、教職員とも良好な関係が続いております。また、対象児童以外の児童とも適切に関わっているとの報告を受けております。1名の保護者におかれましては、これまで時間的な制限があり、なかなか難しかった職場への本格勤務も今後考えているということで、保護者の負担軽減に繋がっているかと思っております。

新規の事業となりますので、今のところはっきりとした成果や課題というのはまだ把握はしていませんが、配置校の意見や要望を随時確認しながら事業を進めていきたいと思っております。以上です。

(武輪委員)

対象児童以外の他の児童との関わりも良好ということでとてもいいことだと思っております。医療関係とも密接に連携を取りながら進めていってほしいと思いますので、これからもよろしくお願いいたします。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。関連質問ございませんか。

(油川委員)

この事業は子どもの自立というものを促してそして自身を深めるという点において、また今のご報告のご説明の中にありましたが、互いを理解し成長しあう学校づくりということにも繋げられるかと思うと、とても意義深い事業であるかと思しますので、どうぞ今後ともよろしく願いいたします。以上です。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。そのほか関連質問はございませんか。

[なし]

今年度新しくスタートした事業でありますので、成果をあまり急がずに、学校現場と連携を密にしながら取り組んでほしいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

そのほか、委員の皆さんからなにかございませんか。

[なし]

それでは次に入ります。「平成30年度第2四半期の主な事業予定について」委員の皆様から何かございませんか。

#### **【平成30年度第2四半期の主な事業予定について（質疑応答）】**

(武輪委員)

14ページの「図書館運営事業」についてお願いをしたいと思います。

報告事項の中に南郷歴史民俗資料館の「長崎原爆展」について報告がありますが、図書館本館行事開催の「戦争と平和」ということで8月14日から8月30日まで行事が開催されるのですが、その中でもぜひ南郷の「長崎原爆展」を周知して、両方で取り上げていただければと思っております。よろしくお願い致します。

(伊藤教育長)

そのほか、なにかございますか。

(築瀬委員)

5ページの「マイブック推進事業」について、毎年この事業は工夫を積み重ねてきており、様々なことに取り組んでいることを評価しているところです。

質問ですが、「出張ブックトーク」を10校で実施予定とありますが、内容についてお聞きします。

(日向端 教育指導課副参事)

ご質問ありがとうございます。

「出張ブックトーク」について、7月にすでに7校で実施しました。6月までのうちに各学校に出張ブックトークに来てほしいところがあるかを聞きまして、希望があった学校と講師の日程調整をした上で訪問するというので、希望があった学校については実施しております。また、8月にも残り3校実施することになっております。

(築瀬委員)

ありがとうございました。ブックリストを作成して、推薦者が直接、本の良さを語り合うことはとてもいいなと思い、お聞きしました。どんな本を紹介するというのは一任しているのですか。

(日向端 教育指導課副参事)

紹介本については推薦者が特におすすめしたい本について選んでもらっています。また、学校からの要望があれば柔軟に対応していると伺っております。以上です。

(築瀬委員)

ありがとうございました。先ほど申し上げましたとおり、様々な工夫をされているので、「出張ブックトーク」後でどのような感じだったのか、どんな反応だったのか聞かせていただければありがたいと思い今話を出しました。

関連いたしまして、図書館では読み聞かせ会やお話会を実施していますが、そういった場で「マイブック推進事業」と連携して実施していくのはどうだろうと思って聞いていました。図書館では連携した取組はあるのでしょうか。

(千葉 図書館長)

「マイブック推進事業」との連携と申しますと図書館で企画展示を行っていますが、企画展示の際にマイブック推進員が本の紹介をしています。今後は委員からご提案のありましたことも視野に入れて考えてまいりたいと思います。

(築瀬委員)

ありがとうございます。可能な範囲で連携して取組むことも大事なと感じましたので述べさせていただきました。

次に、8ページ社会教育課の「家庭教育充実事業」について述べさせていただきます。

映画「みんなの学校」の上映会に行かせていただきましたが、不登校も特別支援学級もない、障がいのある児童も、そうでない児童もみんな一緒にの教室、つまり「みんなの学校」というテーマどおりの実在する学校の映画です。本当にできるのかというような題名ですが、それができているというのがドキュメンタリーなのでフィクションではないのです。映画を見て自分自身驚いたというのがあります。38年教員をしてきて驚くということはあまりないですが、そんな感じを覚えました。それから未来への道しるべがそこにあるような気がしました。市教委の指導主事もたくさんいらしていたようですが、公立の小学校に密着して製作したというのにも驚いたのですが、本当の俳優さんが演じている映画のような錯覚で、迫力がありました。映画を見てから数日経ちましたが、私の気持ちの中にまだ「なにか」残っているのですが、その「なにか」というのは当市で掲げている地域密着型教育がどう生かせるのか、どこか考えていかなければならないことがあるのかということを感じました。いま感想とともに話しました。

今回の事業でとてもよかったと思ったのは、八戸市だけでなく「はちのへ未来ネット」との共催で実施していることです。この事業と関連して市民大学講座も行っており、つながりにある事業を展開したとい



うことが、私は大きな一つの今後の方向性を示したと感じております。

なにか今回の事業について、社会教育課で感想や、反響などがあつたらお話いただければと思います。

(工藤 社会教育課長)

最初に、今回の講座を行なう経緯ですが、はちのへ未来ネットさんから先生の講義がとても素晴らしいと推薦があり進めたものでありました。市民大学講座は社会教育課で担当させていただいておりますが、上映会に関しては、はちのへ未来ネットさんの全面協力で開催させていただきました。

反響ですが、上映会は3回に分けて実施し、約500人が来場されております。また、市民大学講座の聴講は約400人を超え、昨年の市民大学講座の受講生より非常に多く受講されているということで、それだけ皆さんに影響があつたのかと思っています。また映画のDVDなど可能であれば欲しいという声もありました。

今後も、皆さんの心に届くような講座を開催してまいりたいと思っております。

(伊藤教育長)

はいありがとうございました。その他なにかご質問ございませんか。

[なし]

次に「退任新任ALTについて」事務局からの説明をお願いします。

#### **【退任新任ALTについて】**

(小笠原 教育部次長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

次に、「平成30年度八戸市民大学講座（後期）について」事務局からの説明をお願いします。

#### **【平成30年度八戸市民大学講座（後期）について】**

(工藤 社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

次に、「『青少年のための科学の祭典2018』八戸大会について」事務局からの説明をお願いします。

#### **【『青少年のための科学の祭典2018』八戸大会について】**

(本間 総合教育センター所長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

次に、「博物館・南郷歴史民俗資料館の催物について」事務局からの説明をお願いします。

#### **【博物館・南郷歴史民俗資料館の催物について】**

(古里 博物館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[なし]

そのほか、事務局から報告事項はありますか。

[なし]

それでは最後に「その他」ですが、委員の皆様方から何かございますか。

[なし]

#### **閉 会**

(伊藤教育長)

それではこれもちまして平成30年7月の教育委員会定例会を閉会いたします。

(午後2時44分閉会)